

# ドイツ(ハイリゲンダム)サミット報告会 当日プログラム

今年のG8サミットがドイツのハイリゲンダムで今月初旬に開催されました。ドイツを中心に世界のNGOは、サミット開催時に「オルタナティブ・サミット(NGO/市民社会によるもうひとつのサミット)」を開催し、またG8諸国の政府に対して提言活動を行いました。「2008年G8サミットNGOフォーラム」のメンバーは、来年の7月に日本の北海道(洞爺湖)で開催される予定のG8サミットに向けて準備を進めるため、ドイツサミットにおいて政府やNGOの情報収集をしてきました。

本報告会では、ドイツで中心になって提言活動を行ってきたNGO代表のユルゲン・マイヤー氏を迎え、ドイツサミットの成果と課題について、NGOの視点で報告いたします。また、サミット報告を受けて、来年の洞爺湖サミットに向けて日本のNGO/市民社会が何ができるのかを参加者の皆様と共に考えていきます。

日時：2007年6月30日(土) 13時30分～16時30分

場所：中央大学駿河台記念館 370号室

## プログラム：

(司会：JANIC 事務局長 下澤嶽)

13：30～13：40	開会の挨拶 2008年G8サミットNGOフォーラム 代表 星野昌子
13：40～15：20 (100分)	<b>ハイリゲンダムサミットの報告</b> 進行：2008年G8サミットNGOフォーラム 副代表 鮎川ゆりか 報告1：ハイリゲンダムサミットに参加して：全体総括 (特活) ほっとけない世界のまずしさ 高木晶弘 報告2：ユルゲン・マイヤー氏よりドイツサミットの報告 環境と開発に関するドイツ NGO フォーラム 代表 (Mr.Jurgen Maier, Executive Director, German NGO Forum Environment & Development) 報告3：政府からの報告 外務省 地球規模課題審議官[大使] 鶴岡公二氏 環境省 大臣官房審議官 谷津龍太郎氏 質疑応答・意見交換
15：30～16：25 (55分)	<b>NGOの視点～ハイリゲンダムの論点と日本でのサミット開催に向けて～</b> 各ユニット(「貧困・開発」・「環境」・「人権・平和」)からの発言： ハイリゲンダムの論点と日本のサミットへの論点 進行：2008年G8サミットNGOフォーラム 副代表 大橋正明 ・貧困・開発ユニット 貧困・開発ユニット/(特活) オックスファム・ジャパン 山田太雲 ・環境ユニット 環境ユニットリーダー/(特活) 環境エネルギー政策研究所 大林ミカ ・人権・平和ユニット 人権・平和ユニット/ピースボート 野平晋作 人権・平和ユニット/(特活) NICE 開澤真一郎 ・ユースG8活動紹介 ユースG8準備委員会 福島宏希 質疑応答・意見交換